

い よろこ  
生きる喜びを、もっと

－いのちについて考える－

2012年

6月2日(土)

12:25～16:20

参加費：無料  
事前申込不要

12:25～ 開会あいさつ

12:30～ 『てんかんってなあに？』

小沢 浩 先生

島田療育センターはちおうじ 所長

13:40～ 『ほめる子育てってなあに？』

笠原 麻里 先生

駒木野病院 児童精神科診療部長

14:50～ 『いのちを大切にすって  
どうということ？』

田中 総一郎 先生

宮城県拓桃医療療育センター  
小児科医療部長

会場

八王子市 北野市民センター

八王子市北野町545-3 きたのタウンビル7・8階  
(北野駅北口徒歩1分 スーパーアルプス上)

共催：島田療育センターはちおうじ

グラクソ・スミスクライン株式会社

後援：八王子市、八王子市教育委員会

八王子医師会 多摩療育ネットワーク



# 今回のお話

【題目】 てんかんってなあに？

【講師】 小沢浩先生

【内容】 皆さんは“てんかん”と聞くとどんなイメージを持たれるでしょうか。てんかんは半分以上の人が治ります。薬を飲んでいれば7割の人がけいれんを起こしません。そして、けいれんがコントロールされていれば、運転免許も取れます。結婚や出産など、意外と知らないてんかんのことを分かりやすく紹介します。どうかこれを機会に”てんかん”について理解していただければと思います。

【題目】 ほめる子育てってなあに？

【講師】 笠原麻里先生

【内容】 「うちの子、ほめるところなんてないんです」—よく伺う言葉です。そうですね、叱ることはいっぱいあるけれど・・・と、親は感じるものです。なぜでしょうか？もしかすると、責任感が強すぎて、親も自由に振る舞えなくなっているかもしれません。また「ほめてばかりいたら、凶に乗るんです」—ですね。子どもって、そういうものですね。ただ、うまく乗せたら、案外ちゃんとやるのも子どもの力です。

ほめるコツと叱るコツ、ほめることの意義をお伝えして、子どもに育つ‘基本的信頼’という重要なところの働きについて知っていただければと思います。

【題目】 いのちを大切にすることってどういうこと？

【講師】 田中総一郎先生

【内容】 よく子どもに「いのちをたいせつにしなさい」と言うことがあります。形として見えにくい「いのち」のたいせつさを子どもに分かりやすく伝えるにはどうしたらいいか、たった一つしかない「いのち」をどう子どもに感じてもらうか。東日本大震災ではたくさんの方が犠牲になりました。失われていくいのちを惜しみ、被災地の困っている人を助けたいと行動してくださった方がたくさんいらっしゃいました。「絆」という言葉で表されるように、人のいのちは人から思われて、愛情を注ぎ込まれてはじめて感じるができるのかも知れません。地元の小学校で行っている「いのちの授業」を紹介します。